

令和6年度 なつかしい友や恩師との再会 笑顔と感動！

はたち
二十歳のつどい

二十歳という人生の節目を祝い、その門出を祝福する「令和6年度上牧町二十歳のつどい」が1月13日、上牧町文化センターペガサスホールで開催され、会場は色とりどりの晴れ着に身を包んだ参加者のみなさんで賑わいました。

今年の対象者は227名で、旧友や恩師との再会を喜び、思い出話に花を咲かせたほか、家族や友人たちとの記念撮影をするなど、笑顔あふれるつどいとなりました。

今中町長は「自分一人では成し遂げられないことは、考え方や思いをしっかり伝え、そして自分自身も努力しながらその姿を見せ、協力して物事を成し遂げる。その手段としてコミュニケーションを大事にして、しっかりとしたコミュニティを作り、ペガサスのように社会に羽ばたいていってください。」と激励を送りました。

二十歳のつどい実行委員長の番口皓晴さんは参加者を代表し「一人暮らしをして、親のすごさやありがたみを改めて感じました。朝からご飯を作り、洗濯、掃除など、色々なことを全て自分でしなければならなくなり、大学やバイトなどで忙しいなかでは家事を後回しにしてしまうことがあります。親には感謝してもしきれないと思っています。」(一部抜粋)と謝辞を述べました。



社会人としての決意を新たに謝辞を述べる番口さん



参加者の受付をする実行委員たちの様子

二十歳のつどい実行委員
(五十音順)

二十歳のつどいは、11名のかたに二十歳のつどい実行委員になっていただき、事前の打ち合わせや企画の準備、当日の進行など、力を合わせ運営にあたりました。

実行委員のみなさんには二十歳の抱負を漢字1文字で表していただきました。

熱

熱量を持って
生きていきたいおくもとあやの
奥本彩乃さん

夢

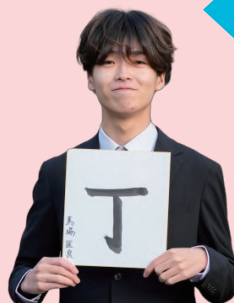
二十歳には、小さい頃から
の夢を叶えると共に、色々
な夢を見る女の子でいたいくわの ゆめ
桑野夢女さん

挑

色々な事に
挑戦する年にしたい！なかと せき
仲戸咲季さん

丁

丁寧生きる

ばば まさよし
馬場匡良さん

賭

二十歳という人生の
分岐点で、人生を賭けて
勝負しますばんぐちこうせい
番口皓晴さん